

## 交付運用報告書

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは世界の代表的商品市況を表すUBS CMCI指数のWTI原油指数に価格が連動する上場投資信託証券を含む有価証券を中心に投資を行い、WTI原油の先物指数の動向を反映する投資成果を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。  
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## UBS原油先物ファンド

追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/インデックス型

第15期 (決算日2023年12月5日)  
作成対象期間 (2022年12月6日~2023年12月5日)

| 第15期末 (2023年12月5日) |          |
|--------------------|----------|
| 基準価額               | 19,861円  |
| 純資産総額              | 6,245百万円 |
| 騰落率*               | 11.1%    |
| 分配金合計              | 0円       |

※騰落率は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー  
<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700  
(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書(全体版)は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名(日経新聞掲載名でも可)を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書(全体版)」のタブをクリック

なお、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2024。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

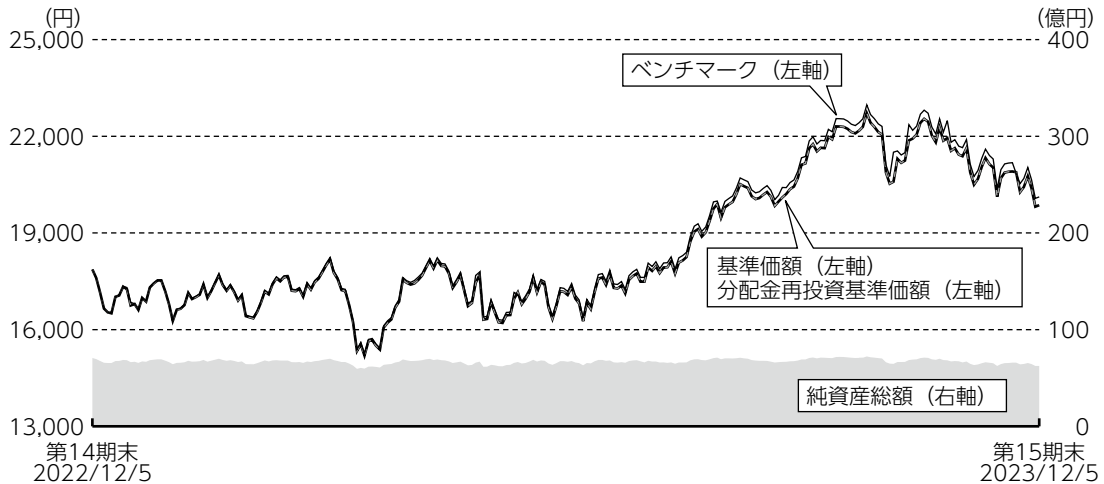
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2022年12月5日～2023年12月5日)



第15期首：17,869円

第15期末：19,861円（既払分配金 0円）

騰落率： 11.1%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で1,992円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+11.1%となりました。

## ベンチマークについて

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「UBS CMCI指数WTI原油指数」を委託会社において円換算した「UBS CMCI指数WTI原油指数（円換算ベース）」です。また、当ファンドはベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

※UBS CMCI指数のWTI原油指数は、UBSとMerQube, Inc.が開発した世界の代表的商品先物指数であるUBS CMCI総合指数におけるWTI原油を独立して指数化したもので、商品市況におけるWTI原油の先物指数動向を反映する指数です。なお、Constant Maturity Commodity Index Family (CMCI：コンスタント・マチュリティ・コモディティ商品指数)に関する著作権、およびその他知的財産権はUBSおよびMerQube, Inc.に帰属します。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、主にベンチマークが上昇したことにより値上がりしました。ベンチマークが上昇したのは、主要産油国による減産の長期化などが相場を下支えしたほか、為替変動（米ドル高・円安）などのプラス要因が、その他のマイナス要因を上回ったことによるものです。

## 1万口当たりの費用明細

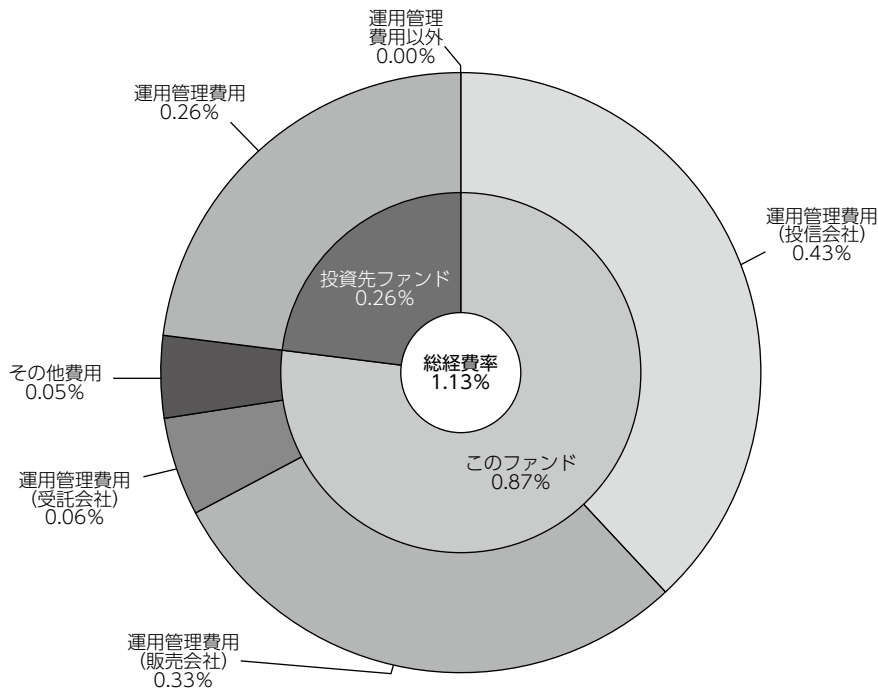
| 項目       | 当期<br>2022/12/6~2023/12/5 |         | 項目の概要   |
|----------|---------------------------|---------|---|
|          | 金額                        | 比率      |   |
| 信託報酬     | 152円                      | 0.814%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>※期中の平均基準価額（月末値の平均）は18,644円です。 |
| （投信会社）   | （ 80）                     | （0.429） | 委託した資金の運用の対価  |
| （販売会社）   | （ 62）                     | （0.330） | 運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価             |
| （受託会社）   | （ 10）                     | （0.055） | 運用財産の管理、運用指図実行等の対価                                    |
| 売買委託手数料  | 12                        | 0.064   | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数                         |
| （投資信託証券） | （ 12）                     | （0.064） | 投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料                         |
| その他費用    | 10                        | 0.054   | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                             |
| （保管費用）   | （ 5）                      | （0.029） | 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用                       |
| （監査費用）   | （ 3）                      | （0.016） | 監査法人等に支払うファンド監査に係る費用                                  |
| （印刷費用等）  | （ 1）                      | （0.008） | 法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等            |
| （その他）    | （ 0）                      | （0.001） | 受益権の管理事務に関連する費用等                                      |
| 合計       | 174                       | 0.932   |   |

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報) 総経費率



|                      |       |
|----------------------|-------|
| 総経費率 (①+②+③)         | 1.13% |
| ①このファンドの費用の比率        | 0.87% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率   | 0.26% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.00% |

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2018年12月5日～2023年12月5日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年12月5日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

(注4) 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

|                   | 2018年12月5日<br>期初 | 2019年12月5日<br>決算日 | 2020年12月7日<br>決算日 | 2021年12月6日<br>決算日 | 2022年12月5日<br>決算日 | 2023年12月5日<br>決算日 |
|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 8,957            | 9,107             | 6,566             | 10,701            | 17,869            | 19,861            |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | —                | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                | 1.7               | △ 27.9            | 63.0              | 67.0              | 11.1              |
| ベンチマーク騰落率 (%)     | —                | 3.6               | △ 26.4            | 65.2              | 69.7              | 12.6              |
| 純資産総額 (百万円)       | 2,095            | 2,157             | 13,541            | 6,836             | 7,061             | 6,245             |

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」、「ベンチマーク騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

## 投資環境について

当期のUBS CMCI指数WTI原油指数（米ドルベース）は上昇しました。

期の序盤、WTI原油価格は概ねレンジ内の動きで推移しましたが、2023年3月に米国中堅銀行の経営破綻に端を発して欧米で金融不安が高まり、市場でリスク回避の動きが広がった影響などから、WTI原油価格は急落する局面も見られました。しかし、欧米当局の迅速な対応により金融不安への過度な警戒感が後退するに連れて、WTI原油価格は持ち直しました。期の後半、産油国であるサウジアラビアが原油の自主減産を決定したほか、ロシアも原油供給を削減する方針を表明したため、先行きの原油需給のひっ迫観測が強まりWTI原油価格は上昇基調に転じました。

期の終盤、中東情勢の緊迫化を受けて原油供給不安が広がり、WTI原油価格は一時急騰する局面もありましたが、中東情勢問題が周辺の産油国に拡大することへの過度な警戒感が和らいだほか、主要原油輸入国である中国の経済回復の遅れや、米原油の在庫増などが相場の重石となり、WTI原油価格は期末にかけて軟調に推移しました。

なお、当ファンドのベンチマークであるUBS CMCI指数WTI原油指数（円換算ベース）は、前期末比で大きく上昇しました。

当期の為替相場（米ドル／円）は、前期末比で米ドル高・円安となりました。

期初、134円台後半でスタートした米ドル／円相場は、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めを進めた環境下、日本銀行（日銀）が緩和的な金融政策を維持したことで日米金利差が意識され、米ドルは円に対して概ね上昇基調で推移しました。結果、米ドル／円相場は147円台前半で期末を迎えました。

### 米ドル／円レートの推移



## ポートフォリオについて

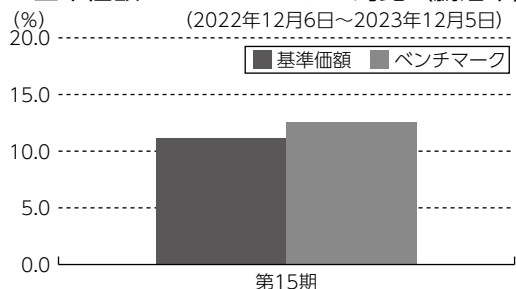
上場投資信託証券を高位に組入れ、ベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当期中の騰落率は、基準価額の+11.1%に対してベンチマークが+12.6%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を1.5%下回りました。

基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、当ファンドで流動性確保のために資産の一部を短期金融資産で運用したことや、信託報酬・信託財産の管理に要する費用（保管費用、租税等を含みます。）を負担したことなどです。

### 基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベース

## 分配金について

当期は、市況動向等を勘案し分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

| 項目        | 第15期                  |  |
|-----------|-----------------------|--|
|           | 2022年12月6日~2023年12月5日 |  |
| 当期分配金     | -円                    |  |
| (対基準価額比率) | ( -%)                 |  |
| 当期の収益     | -円                    |  |
| 当期の収益以外   | -円                    |  |
| 翌期繰越分配対象額 | 11,713円               |  |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

---

### 投資環境の見通し

主要国の金融政策や景気動向、原油需給、為替変動、地政学的リスクなど、原油価格に影響を及ぼす要因を引き続き注視していく方針です。

### 今後の運用方針

引き続き上場投資信託証券を高位に組入れ、ベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

## お知らせ

---

該当事項はありません。

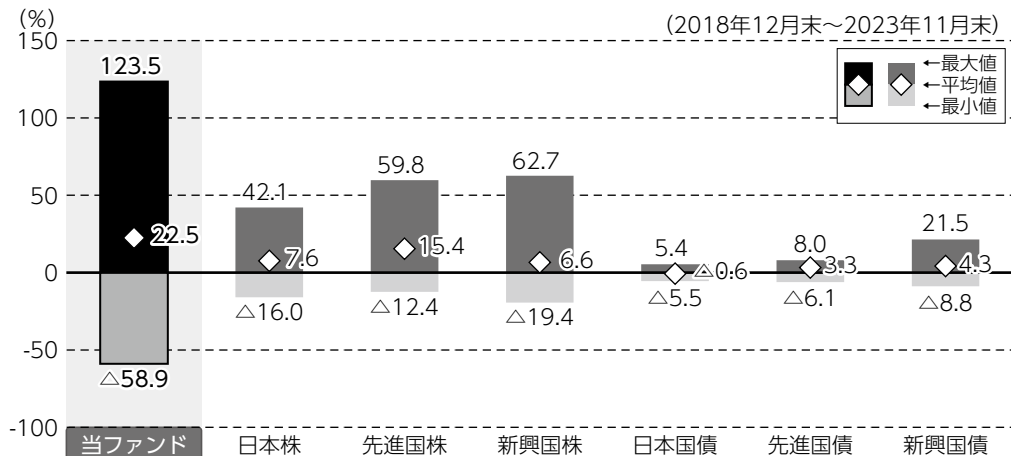


## 当ファンドの概要

|        |  |
|--------|--|
| 商品分類   | 追加型投信／海外／その他資産（商品先物）／インデックス型   |
| 信託期間   | 信託設定日（2009年2月16日）から2027年12月6日まで  |
| 運用方針   | 世界の代表的商品市況を表す <b>UBS CMCI指数WTI原油指数</b> （円換算ベース）に概ね連動し、WTI原油の先物指数の動向を反映する投資成果を目指して運用を行います。  |
| 主要投資対象 | <b>UBS CMCI指数WTI原油指数</b> に価格が連動する上場投資信託証券を含む有価証券を主要投資対象とします。   |
| 運用方法   | 投資成果をベンチマークである <b>UBS CMCI指数WTI原油指数</b> （円換算ベース）に概ね連動させるように運用を行います。<br>リスク軽減のためデリバティブ取引を行うことがあります。<br>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。<br><b>UBSアセット・マネジメント（UK）</b> リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 |
| 分配方針   | 毎決算時（原則毎年12月5日、休業日の場合には翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わない場合があります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。                                 |

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

\*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

## 各資産クラスの指数

|      |  |  |
|------|--|--|
| 日本株  | 東証株価指数 (TOPIX)<br>(配当込み)                 | 東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。             |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス<br>(配当込み、円換算ベース)         | MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。                                  |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス<br>(配当込み、円換算ベース) |  |
| 日本国債 | NOMURA-BPI国債                             | NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。          |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス<br>(除く日本、円換算ベース)          | FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。              |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド<br>(円換算ベース)  | JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。 |

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

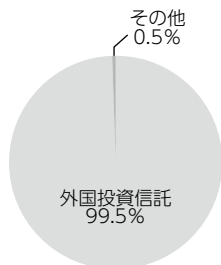
(2023年12月5日現在)

組入上位銘柄（銘柄数合計：1銘柄）

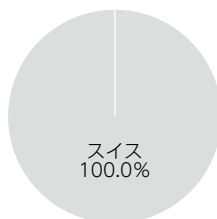
| 銘柄                               | 種別     | 国/地域 | 比率 (%) |
|----------------------------------|--------|------|--------|
| UBS ETF (CH) - CMCI OIL SF (USD) | 投資信託証券 | スイス  | 99.5   |

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

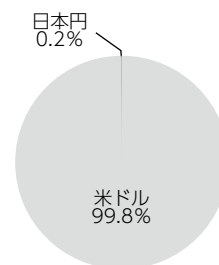
### 資産別配分



### 国・地域別配分



### 通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

## 純資産等

| 項目         | 第15期末<br>2023年12月5日 |
|------------|---------------------|
| 純資産総額      | 6,245,318,433円      |
| 受益権総口数     | 3,144,472,105口      |
| 1万口当たり基準価額 | 19,861円             |

(注) 当期（第15期）中における追加設定元本額は2,088,372,003円、同解約元本額は2,895,753,927円です。